

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第2部門第4区分  
 【発行日】令和5年5月2日(2023.5.2)

【国際公開番号】WO2022/071452  
 【出願番号】特願2022-554073(P2022-554073)

【国際特許分類】

*B 4 1 M 5/00(2006.01)*

*B 4 1 J 2/01(2006.01)*

*C 0 9 D 11/30(2014.01)*

*C 0 9 D 11/101(2014.01)*

10

【F I】

B 4 1 M 5/00 1 0 0

B 4 1 M 5/00 1 2 0

B 4 1 J 2/01 1 2 7

B 4 1 J 2/01 1 2 5

C 0 9 D 11/30

C 0 9 D 11/101

【手続補正書】

20

【提出日】令和5年3月16日(2023.3.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

水と、ポリマーP及び重合性モノマーMを含む粒子と、を含有し、前記重合性モノマーMが、25 での粘度が500 mPa・s以下であるモノマー(M-1)を含み、前記モノマー(M-1)の含有量が前記粒子の全固形分量に対して25質量%~80質量%であるインクを準備する工程と、

30

基材上に前記インクをインクジェット法によって付与する付与工程と、

前記基材上に付与された前記インクに対し、活性エネルギー線を照射する照射工程と、を含み、

前記基材上に前記インクが着弾した時点から前記活性エネルギー線の照射が開始されるまでの時間が、1.00秒以下である、

インクジェット記録方法。

【請求項2】

前記ポリマーPが鎖状ポリマーである、請求項1に記載のインクジェット記録方法。

40

【請求項3】

前記モノマー(M-1)は、25 での粘度が150 mPa・s以下であるモノマー(M1A)を含む、請求項1又は請求項2に記載のインクジェット記録方法。

【請求項4】

前記活性エネルギー線の照射が開始された時点の前記インクにおける前記粒子の全固形分量が、前記活性エネルギー線の照射が開始された時点の前記インクの全量に対し、3質量%以上20質量%未満である、請求項1~請求項3のいずれか1項に記載のインクジェット記録方法。

【請求項5】

前記付与工程において、前記インクが着弾する側の前記基材の表面の温度が、30 ~ 50

70 である、請求項1～請求項4いずれか1項に記載のインクジェット記録方法。

【請求項6】

前記付与工程の前に、前記基材を加熱する予備加熱工程を含むこと、及び、  
前記付与工程において、前記基材の加熱及び前記インクの付与を行うこと  
の少なくとも一方を満足する、

請求項1～請求項5のいずれか1項に記載のインクジェット記録方法。

【請求項7】

前記照射工程において、前記活性エネルギー線の照射エネルギーが  $300 \text{ mJ} / \text{cm}^2$   
以上であり、

前記活性エネルギー線を照射した後のインク中における液体成分の含有量が、前記活性  
エネルギー線を照射する前のインク中における液体成分の含有量に対し、10質量%以上  
である、請求項1～請求項6のいずれか1項に記載のインクジェット記録方法。 10

【請求項8】

更に、前記活性エネルギー線が照射された前記インクを加熱乾燥させる乾燥工程を含む  
請求項1～請求項7のいずれか1項に記載のインクジェット記録方法。

【請求項9】

前記乾燥工程において、加熱乾燥された前記インクにおける液体成分の含有量が、加熱  
乾燥される前の前記インクにおける液体成分の含有量に対し、2.0質量%～50質量%  
である請求項8に記載のインクジェット記録方法。 20

20

30

40

50